

俺はいやだよ

兄貴があんたを抱いた

海猫

umineko

森田芳光監督作品

伊東美咲 仲村トオル ミムラ／三田佳子／ 小島聖 白石加代子 佐藤浩市

深水元基 角田ともみ 蒼井優 鳥羽潤

原作：谷村志穂（新潮文庫刊）脚本：筒井ともみ 音楽：大島ミチル

主題歌：MISIA「冬のエトランジェ」*Rhythmedia Tribe*／作詩・作曲：TAKURO【GLAY】

企画：坂上順、早河洋 プロデューサー：野村敏哉 小島吉弘 三沢和子、木村純一 石井徹

撮影：石山稔 録音：横本文雄 照明：渡辺三雄 美術：山崎秀満 装飾：柳沢武 衣裳：宮本まさ江 編集：田中慎二 助監督：杉山泰一 キャスティング：福岡康裕 製作担当：橋本靖
「海猫」製作委員会：東映 東映ビデオ テレビ朝日 カルチュア・パブリッシャーズ S・D・P 朝日放送 ギャガコミュニケーションズ 北海道新聞社 朝日マリオン21 東京都ASA連合会

©2004「海猫」製作委員会

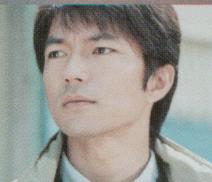
www.umineko-movie.jp

R-15

DOLBY

DIGITAL

「失乐园」の監督・森田芳光が描く、待望のラブロマネスク



北の海辺を舞台に、狂おしいまでに純粋な愛のかたち。

衝撃作『失楽園』から7年。最近作『阿修羅のごとく』で見事な円熟を見せながら、一作ごとの“新境地への挑戦”を続ける森田芳光監督が、今回果敢に挑む『狂おしいまでに純粋な愛の本能』。女性の生き方を常に問い合わせてきた作家・谷村知穂が、郷里の北海道を舞台に綴り、第10回島清恋愛文学賞を受賞した原作を、『それから』『失楽園』『阿修羅のごとく』で森田監督と共に、極上の大人のドラマを織り上げた筒井ともみが脚本を担当。そして、音楽は『失楽園』で、極限の男女の愛をエモーショナルな旋律で奏でた大島ミチルが、より深く、より激しい人間愛の魂へと響かせていく。インターネットや携帯電話を通して、出会いすらデジタル化された現代にこそ、魂に杭を打たれたように結ばれる女と男の激しい心の軌みは、深く刻まれていく。

女はたった一度だけ、
心のまま生きたいと願った。
逆風の海へ羽ばたく、海猫のように……。

函館に生まれ育った野田薫(伊東美咲)は、峠を越えて漁村・南茅部に嫁いできた。夫の赤木邦一(佐藤浩市)は北の海で生きる漁師。「大丈夫だ。俺に何でも任せとけばいい」。逞しく薫を包む夫の言葉は、若い薫の心に確かな温もりとして根付いた。母・タミ(三田佳子)の手紙に励まされながら、邦一の妻として懸命に昆布漁を続ける薫。こうして無事歳を重ねていくかに見えた薫の人生に、邦一の弟・広次(仲村トオル)が荒波を立てた。母と駆け落ちしたロシア人の間に生まれた薫の青みがかった瞳を「海猫にそっくりだ」と言った広次。それに呼応するように、薫は自らの心の声を聞いた。逆風に羽を打たせ、果敢に冬の海へと飛び出す海猫のように——。函館で暮らす広次のものとへ、再び薫は峠を越えた。

美しい心象風景の中に紡ぎだされる、
人間の純粋なまでの愛のカタチで、銀幕を旅する
MISIA×TAKURO【GLAY】の
夢のコラボレーション

主題歌は、「作品の透明感と突き刺すようなラストの余韻に相応しい歌声」はMISIAしかいないと監督の熱いラブコールで実現、さらに作詞・曲を映画の舞台にもなっている函館出身のアーティスト【GLAY】のTAKUROが提供するという夢のコラボレーション。街の人と人との関係がより深くあるがゆえに、近くのものを愛しすぎて、その愛に一途に生きた女の恋心を見事に表現したとえ許されない愛であろうとその刹那に生きる純粋な愛の歌(カタチ)で、森田ワールドをさらなる高いステージへと飛翔させる。風雪吹きすさぶ北国で、『純粋な愛』を貫くヒロインの生きざまは、この秋、日本中に眞の愛のカタチを問いかける。



一度だけ、あなたに抱かれに来ました



www.umineko-movie.jp